

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

独創的で精度良く頑丈で故障しない機械、自動化システム、デジタル技術を最善のサービスとコストでお客様に供給すること

連結受注額
5,400億円

売上収益
5,350億円

営業利益率
4.2%

ROE
15%以上

② 中長期の経営戦略

1. MX（マシニング・トランスフォーメー…

自動化による工程集約で月間500時間、年間6,000時間の稼働時間を実現。複合加工機、5軸加工機を主体に差別化を進展

2. 高付加価値提供による受注単価向上

工作機械の受注平均単価を71.0百万円から79.6百万円へ上昇。大型機需要増と値引率低減で実現

3. グローバル携帯モジュール搭載展開

2026年第4四半期より工作機械に搭載。遠隔モニタリング、予知保全、ソフトウェア遠隔アップデートを実現

4. 基幹ユニットの共通化・内製化

主軸、ボールねじなど日欧で共通化。2030年までに統合の内製ユニットに置き換えて高品質を実現

③ 対処すべき課題

① 開発と品質・MXの推進

- ・ 長期安定稼働を実現する独創的で精度良く頑丈で故障しない機械の設計
- ・ 遠隔モニタリングによる予知保全と早期復旧体制の構築
- ・ ERGOline X with CELOS X搭載による操作性向上と400V化による主軸高出力化

② 安全保障貿易管理

- ・ グループ統一の輸出管理審査体制で軍事転用防止。日欧米の相互補完体制構築
- ・ 移設検知装置の厳格管理と機能向上による不正輸出防止
- ・ 社員教育によるグループ全体の管理意識強化

③ サステナビリティ推進

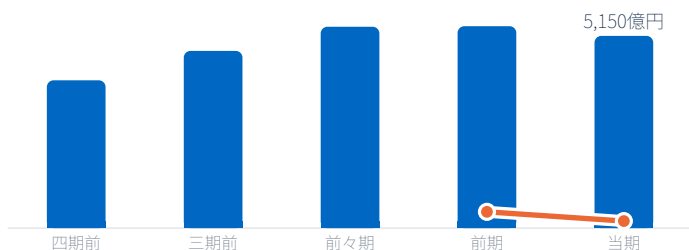
- ・ 伊賀事業所で年間電力需要約30%を賄う自家消費型太陽光発電システム開始
- ・ RE100加盟とUNGC署名参加による再生可能エネルギー100%目標の宣言
- ・ CDP2025で気候変動と水セキュリティ分野でAリスト企業に認定

面接で使えるポイント

- ・ MX戦略により年間6,000時間の稼働時間を実現する無人運転の自動化に貢献する技術開発
- ・ 2026年第4四半期から搭載するグローバル携帯モジュールで世界中の工作機械を遠隔サポートする仕組み
- ・ 工作機械業界でのグローバルワン地位維持のため、2030年度ROE15%以上を目指す利益率向上への取り組み

証券コード 6141

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
5,150億円営業利益率
3.7%財務健康度
34点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 59.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
905万円

機械内 16位/208社

平均年齢
43.3歳

機械内 67位/209社

平均勤続
17.2年

機械内 62位/209社

女性管理職
9.9%

機械内 18位/168社

男性育休
106.3%

機械内 3位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
機械業界に属する大手工作機械メーカー

主力事業・セグメント

- ・ Machine工具 66.7%
- ・ 産業サービス 33.3%
- ・ コーポレート 0.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 連結売上高5,150億円の事業規模
- ・ 平均勤続17.2年と定着率が高い
- ・ 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

